

医療ニーズ;点滴ボトルの遮光カバー



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 看護部

「遮光を簡単にしたい」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- 点滴、注射しなければならない薬剤の中には、光を当てると性質が変化してしまうものがある。
- 遮光シートなどを使って、点滴の袋、点滴の管を光から遮る必要がある。
- 例えばビタミンは日光によって、性質が変化してしまうため、ビタミン入りの点滴の時は光を当てないようにしなければならない。
- そのほかにもニューキノロン(抗菌薬)やシスプラチン(抗がん剤)も光に当ててはいけない。

■現在の対応方法

- 看護師がそれぞれのバックや点滴管に合わせて遮光シートを切り張りし光を遮っている。
- 1つ1つ手作りなので、作成するのに非常に手間がかかる。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ニューキノロン(クラビット)は国内第2位の売上(184億円)
 - 抗がん剤の入院の処方数ランキングで1位(265,292単位。)
- (出典: <http://answers.ten-navi.com/pharmanews/7985/>
<http://health-1point.com/antibiotics-earnings-2015/>)

【イメージ・参考例】手作りの遮光カバー



← 手作りの遮光カバー

機能アイデア例

- 遮光機能のない点滴袋をシートで包むのではなく、そもそも遮光機能のあるものがよいのでは？
- どんな袋や管の形状にも合うような遮光カバー

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp